

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和6年度第4回宮古市総合計画審議会を次のとおり開催しました。

令和6年9月24日

宮古市総合計画審議会

- 1 開催日時
令和6年9月5日（木） 午後4時00分～午後5時40分
- 2 開催場所
宮古保健センター1階 大会議室
- 3 議題
(1)第3回審議会以降の意見の対応・反映状況について
(2)宮古市総合計画（後期基本計画）素案について
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
企画部企画課企画調整係 電話 0193-68-9064

令和6年度第4回宮古市総合計画審議会

1 出席者（26名）

①和川央 会長 ②植野歩未 副会長 ③加賀谷康司 委員 ④石井真吾 委員
⑤有原領一 委員 ⑥伊藤重行 委員 ⑦小野寺淳 委員 ⑧細越伸 委員
⑨中野貴子 委員 ⑩中居泰雅 委員 ⑪中村陽香 委員 ⑫伊藤峻 委員
⑬伊藤純子 委員 ⑭雲然祥子 委員 ⑮田澤範史 委員 ⑯小堀内将文 委員
⑰野尻長 委員 ⑱福井喜朗 委員 ⑲本多政彦 委員 ⑳田鎖憲幸 委員
㉑岡村優希 委員 ㉒佐々木フレデリカ 委員 ㉓坂本紗綾 委員 ㉔武藤元 委員
㉕志賀政信 委員 ㉖佐藤和美 委員

2 欠席者（4名）

①佐々木真琴 委員 ②竹村育貴 委員 ③上之原良美 委員 ④中村なつみ 委員

3 事務局出席者（5名）

①多田康 企画部長 ②箱石剛 企画課長 ③工藤真奈美 企画調整係長
④竹田真吾 地域創生推進室長 ⑤佐々木英明 主任

4 傍聴者

なし

5 議事等

(1)第3回審議会以降の意見の対応・反映状況について

第3回審議会以降に委員より受けた意見に対して計画への反映状況の説明を行った。

(2)宮古市総合計画（後期基本計画）素案について

総合計画後期基本計画素案の構成、人口ビジョン・まちひとしごと総合戦略の概略について、説明を行い、審議会に承認された。

質疑応答内容

質問・意見	回答
【議題】(1)第3回審議会以降の意見の対応・反映状況について 資料1 説明者…事務局 (委員) …資料1-2 P2(8)について 「多言語情報発信の拡充等」と記載があるが、他の言語について意図しているものであれば「等」は「多言語」に係るものとなり、案内表示など他の情報発信を意図しているものであれば「等」は「多言語情報」に係るものとなり、「等」の位置が違うのではないか。 (委員) …資料1-2 P2(8)について インバウンド対応で案内表示やピクトグラムといった対応も追加しても良いのではないか。 (委員) 観光の振興の課題の中に、閑散期の集客をどうするかという重要な視点が抜けている。 …資料1-2 P2 (14) 「通過型観光から滞在型観光へ誘導し、観光消費額を増進させるため」と施策の方向に記載があるが、これは基本事業の方向に含めた方が良い。 (委員) …資料1-2 P4、P7について P4で「市内最大の商業施設」と表記し、一方、P7で「大型商業施設」と表記している。どちらもキャトルを意図したものだと思う	(事務局) 今回追加した「多言語情報発信の拡充」に対してのみに係るものではなく、この文言の前段の部分である、インバウンド、キャッシュレス、通訳ガイドに係るもの。 (事務局) 担当課に確認し、より分かりやすい表現となるよう検討いたします。 (事務局) 基本事業に含める方向で検討します。 冬時期の集客の視点の追加について、担当課と検討します。 (事務局) 表現方法を検討いたします。

が表記は統一した方が良いのではないか。 …資料1-2 P2 (12) について 「岩手県民、宮古市民に対する」と表記しているが、県民、市民に限定しないほうが良いのではないか。 (委員) …資料1-1 P7について インバウンドに対応できるスタッフが不足していると実感している。外国人对応できるスタッフを増やしてほしい。 (委員) …資料1-2 P2 (3) について 「マーケティングにより、誘客ターゲットを定めます。」と表記している。施策では大きな方向性を示すものというのは理解できるが、もう少し具体的に示した方が良い。 (委員) …資料1-2 P9 (7) について 指標に「中心市街地での平日歩行者交通量」とあるが、商業振興を図る指標として適さないのではないか。商店の売上などの指標の方が良いのではないか。 (委員) …資料1-2 P9 (7) について 「平日歩行者交通量」の指標は、中心市街地の賑わいという観点も含んだものと理解している。	(事務局) 事務事業で対応してまいります。 (事務局) 表現方法を検討します。 (事務局) この基本事業には他にも、「商工会議所会員数」「市内の新規創業者数」「中心市街地商店街の営業店舗数」という指標もある。これらの他の指標も含んで総合的に評価していく。
---	---

質問・意見	回答
(2) 宮古市総合計画（後期基本計画）素案について 資料2 説明者…工藤企画調整係長、竹田地域創生推進室長 (委員) …資料2 P6 について 総合戦略体系図基本目標の5番「魅力を磨き、発信し、ひとの流れを創出する」とあるが、具体的になんの魅力を磨くのか分かりづらい。 (委員) …資料2 P6 について この戦略の意図するところとして、移住促進より、現在、定住している方に向いているものなのか。 (委員) …資料2 P6 について 将来的には必要になってくると思う。検討いただきたい。	(事務局) 素案（参考資料）のP64に記載のとおり。森・川・海の自然資源や大型客船が寄港できる港湾機能、歴史・文化伝統など、地域資源の磨き上げ、発信を行うもの。また同時に情報発信・プロモーションを実施し、市民愛着度の醸成と認知度の向上を図るもの。 (事務局) 人口減少対策の視点とすると、社会減対策として外からの人流を創出しようとする側面、自然減対策として出生数を確保しようという側面の二つの側面がある。 自然減対策は基本目標3に記載しているところ。社会減対策については、多角的な視点で施策を推進しなければならないと考えている。市民満足度の上昇、安定した雇用と地域の稼ぐ力の創出といった地力の引き上げを行っていく。基本目標5の情報発信・プロモーションの強化の具体的な取組のなかには移住定住の促進を関連事業に入れている。 (事務局) 素案の書きぶりのなかに、社会減の取組を直接的に分かりやすく記載するよう検討させていただく。

(委員) …資料 2 P6 について 地域ビジョンに「安定した仕事をもって、子供を幸せに育てられるまち」を掲げている。P6 の表のように体系的に示すことができれば問題ないが、この地域ビジョンの文言だけをクローズアップされ、さまざまな年代の方が観た際に、誤解を招く表現ではないか。 参考資料の P59 に国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の基本的な考えとして「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」と記載している。 国で掲げる理想像と、市として目指すべき理想像とを見比べたときに、市の理想像を表す表現として齟齬がでていなければ良いと危惧している。	(事務局) 国のデジタル田園都市国家構想総合戦略では、過度な東京一極集中を食い止める意図を持った、国目線の考え方。一方、まちひとしごと総合戦略の目的としては、人口減少対策という観点から理想像を掲げている。戦略の趣旨、目的からこのような仕事と子育てを強調した表現となっている。
(委員) …参考資料 P1、P10 について 参考資料 P1 の後期基本計画策定の趣旨では、年の表記が和暦のみの記載となっているが、P10 の SDGs に関する取り組みでは、和暦と西暦が併記されるなど表記がまちまちとなっているので、表記を統一した方が良い。	(事務局) 表記を統一する。
(委員) …各委員からの質問について 審議会で議論すべきは部門別計画と施策の体系の部分。まちひとしごと総合戦略は、国の施策に基づいて、人口減少対策に特化して、取り組むものなので書きぶりに偏りが出る。これを総合計画に取り込んで一体的に取り組んでいくもの。 総合戦略は市民推進委員会で議論しているところなので、総合計画の構成と施策の体系、部門別計画を議論すべき。	

(委員) …人口ビジョンについて 人口目標値を2万8千人と設定しているが、どの部分にその記載があるか。	(事務局) 参考資料のP48に記載しているほか、本日の資料には含まれていないが、基本構想の文言で人口目標を記載する。
--	--